

後援(予定)

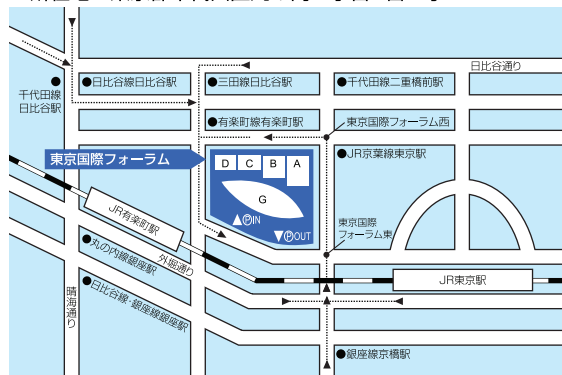
- 経済産業省 資源エネルギー庁
- 国土交通省(申請中)
- 総務省 消防庁
- 東京都(申請中)
- (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(申請中)
- (財)エネルギー総合工学研究所
- 電気事業連合会 (社)日本ガス協会 日本LPガス団体協議会
- (財)建築環境・省エネルギー機構 (財)省エネルギーセンター
- (財)新エネルギー財団 石油連盟 (社)日本内燃力発電設備協会
- (社)燃料電池普及促進協会

協賛(予定)

- (社)空気調和・衛生工学会 (社)日本エネルギー学会
- (社)エネルギー・資源学会 (社)電気学会 (社)日本建築学会
- (社)電気設備学会 (社)日本機械学会

会場案内図

東京国際フォーラム
所在地：東京都千代田区丸の内三丁目5番1号



●車輪導入路
A:ホールA、B:ホールB7・ホールB5、C:ホールC、D:ホールD7・ホールD5・ホールD1・会議室、G:会議室・展示ホールロビー

☆JR線・地下鉄 有楽町駅より徒歩1分、JR線 東京駅より徒歩5分
(お願い)
会場へお越しの際には、公共交通機関をご利用願います。

定員

シンポジウム・・・240名
テクニカルツアー・・・40名

申込方法

下記の方法にてお申し込み下さい。
※本年度より下記ホームページ/イベント欄からのお申込みとなります。
<http://www.cgc-japan.com/>

参加費

	会 員	非会員
講演会	10,500	15,750
レセプション	5,250	5,250
* テクニカルツアー	10,500	15,750

(上記金額は、消費税5%を含んでおります。)

* テクニカルツアーはシンポジウム講演会ご参加者に限らせて頂きます。

申込締切

2010年11月12日(金) 但し、定員になり次第
締め切らせていただきます。

お支払方法

参加費は発行された請求書により原則として開催日迄に以下の口座へお振込み下さい。(振込み手数料は各自のご負担にてお願いします。)

銀行名：三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店
銀行・支店コード：0005-014
口座番号：0032584
口座名義：財団法人 天然ガス導入促進センター
理事長 鳥原 光憲(とりはら みつり)

お申込み後のお取消しは、11/12(金)迄にメールまたはFAXにてご連絡下さい。
それ以降のお取消しは全額申し受けますので予めご了承下さい。

お問合せ

財団法人 天然ガス導入促進センター エネルギー高度利用促進本部
東京都千代田区九段北4-3-14 九段堀江ビル3F
TEL：03-3288-8806 FAX：03-3288-8818
E-mail：info@cgc-japan.com URL：//www.cgc-japan.com

企画・運営：業務委員会
委員長 永嶋義徳 (株)IH I
委員 喜多茂雄 大阪ガス(株) 関根武男 (株)大林組 原田 純 川崎重工業(株)
大内隆弘 関西電力(株) 都築 巧 中部電力(株) 小塚かをり 東京ガス(株)
久保宏幸 東京電力(株) 兼松純洋 東邦ガス(株) 広邊徹也 三菱重工業(株)
本部事務局 田中洋一 本部長 武智和志 業務部長
杉本一郎 本部長付部長 兼 業務部次長

コージェネレーション シンポジウム 2010

2010.11/18(木)
シンポジウム
東京国際フォーラム D棟 7F
(受付 D棟 6F)
11/19(金)
テクニカルツアー

グリーンイノベーションにおける コージェネレーションシステムの役割と課題



ご挨拶

2年目を迎えましたエネルギー高度利用促進本部の事業につきましては、順調に進捗しておりまして、会員、関係者の皆様のご支援に心から御礼を申し上げます。

コージェネレーションシステムは、6月に策定されたエネルギー基本計画をはじめとする諸施策において地球温暖化対策を進めるうえでの重要なシステムの一つと位置づけられており、その活用が期待されています。

今後、原動機の更なる効率向上、燃料電池の活用などシステムの高効率化、そして再生可能エネルギーや未利用熱エネルギーとの組み合わせによるスマートエネルギーネットワークの中核設備としての機能など、持続可能な低炭素社会形成に向けて、コージェネレーションシステムの役割はより一層重要になってくることは間違いありません。

さて、本年の「コージェネレーションシンポジウム2010」は、「グリーン・イノベーションにおけるコージェネレーションシステムの役割と課題」をメインテーマに、産官学から著名な有識者の方々をお招きしてのご講演やパネルディスカッション等を企画いたしました。

大変ご多忙のところとは存じますが、皆様方にご参加頂き、活発なご討議を賜りますようお願い申し上げます。



財団法人 天然ガス導入促進センター エネルギー高度利用促進本部 幹事会代表 **村木 茂**

講師紹介

基調講演



講師 **中上 英俊 氏**

株式会社 住環境計画研究所 代表取締役所長

「グリーン・イノベーションによるライフスタイルの変革」

グリーン・イノベーションは、環境・エネルギー分野に端を発し、社会全体がこれを推進して行くことを求められている。特にその中核となるエネルギー利用面から見ると、個別、単体の「点」からの省エネルギーは言うに及ばず、これをつないだ「線」からさらにこれを重層的に活用する「面」さらには「空間」までまさにコミュニティレベルでのイノベーションの推進が求められている。言い換えれば、スマート・コミュニティの実現に向けてわれわれのくらしを取り巻くあらゆる場面での変化が求められているといえよう。このような変革の時代にあつてわれわれのべき「くらしのあり方」として何が求められていくのだろうか、考えてみたい。

パネルディスカッションコーディネータ



講師 **柏木 孝夫 氏**

東京工業大学 統合研究院 教授
大学院理工学研究科機械制御システム専攻 工学博士
(専門分野) 環境・エネルギーシステム工学、冷凍・空調調和、応用熱工学

「グリーン・イノベーションによるスマートコミュニティの構築
～次世代エネルギー・社会システムに向けて～」

我が国の成長戦略の実現に向けて再生可能エネルギーの導入に向けた規制の見直し並びに経済と環境の両立を可能とする低炭素社会の構築に向けた「次世代エネルギー・社会システム協議会」の活動が注目を集めている。

これまで、再生可能エネルギーの導入に伴う電力の有効利用を中心に議論されてきたが、今後はエネルギーの全体最適化を考えると電気だけではなく熱や各種排熱などの未利用エネルギーを総合的に組合せたスマートエネルギーネットワークを実践していく必要こそが不可欠となる。そのための課題を明確にするとともに今後の展望について議論したい。

第26回 コージェネレーションシンポジウム2010 プログラム

講演会

11月18日(木)

開会の辞

10:00～10:10 開会の辞
村木 茂 エネルギー高度利用促進本部 幹事会代表

基調講演

10:10～11:10 グリーン・イノベーションによるライフスタイルの変革
中上 英俊 株式会社 住環境計画研究所 代表取締役所長

一般講演

11:10～11:30 1MW高効率ガスエンジンコージェネレーションシステムの開発
斎藤 準 東京ガス株式会社 ソリューション技術部 係長
堀本 孝治、野口 知広、高松 幹夫 三菱重工業株式会社

11:30～11:50 イオンレイクタウン(越谷)へのコージェネレーションの導入
高橋 孝一 イオンリテール株式会社 建設部 設備担当課長

11:50～12:10 発電所から近隣石化工場への蒸気供給事業について
柴田 憲一 東京電力株式会社 火力エンジニアリングセンター 主任
小河原 仁 川崎スチームネット株式会社

昼 食

一般講演

13:10～13:30 太陽光発電とコージェネ、蓄電池の組合せシステム実証試験の取り組み
山脇 宏 東邦ガス株式会社 技術研究所 係長
兼松 純洋 東邦ガス株式会社

13:30～13:50 1.7MW級高効率・低エミッションガスタービンM1A-17の開発
合田 真琴 川崎重工株式会社 ガスタービンビジネスセンター技術総括部 課長

13:50～14:10 京都リサーチパークにおけるスマートエネルギーネットワーク
実証試験について
田村 英夫 大阪ガス株式会社 エンジニアリング部 マネジャー
佐藤大作、竹田博、仲尾国広 大阪ガス株式会社

14:10～14:30 三菱重工の考える“スマートコミュニティへの取り組み”
福泉 靖 三菱重工業株式会社 エネルギー・環境事業統括戦略室 次長

休憩 (コーヒープレイク)

【パネルディスカッション】

14:50～15:20 グリーン・イノベーションによるスマートコミュニティの構築
～次世代エネルギー・社会システムに向けて～

コーディネータ
柏木 孝夫 東京工業大学 統合研究院 教授

15:20～17:10 パネリスト講演+ディスカッション
久徳 博文 大阪ガス株式会社 取締役 常務執行役員 エネルギー事業部長
栗山 茂樹 清水建設株式会社 環境・技術ソリューション本部長
山地 憲治 財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事 地球環境産業技術研究所長
高山 光雄 株式会社日立製作所 トータルソリューション事業部長

基調講演

17:10～17:40 エネルギー基本計画を実現するための天然ガスの高度利用の推進について
横尾 英博 経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部長

閉会の辞

閉会の辞
犀川 淳一 エネルギー高度利用促進本部 幹事会副代表

レセプション (ホールD5)

18:00～19:30 来賓祝辞(依頼中)
経済産業省 資源エネルギー庁
環境省 地球環境局
国土交通省 住宅局
総務省 消防庁

テクニカルツアー

コージェネレーションシステム施設見学 11月19日(金)

9:45 集合：JR武蔵野線 越谷レイクタウン駅北口

10:00～11:30 イオンレイクタウン
(埼玉県越谷市)

原 動 機：ガスエンジン 発電出力920kW×6台
排熱利用：冷・暖房、給湯
燃 料：都市ガス

エコストアとして国内商業施設最大級、かつ最新の取組みを行うショッピングセンターとして計画された。省エネ施策の取組みに当たり、従来の「点」である個別対策に加え、街区全体でのエネルギー融通を考慮した「面」での対策を行うことにより効率的なエネルギー利用に配慮している。従来型SCIに比べ20%のCO₂削減を目標に最新の環境対応設備を導入した。

13:00～14:00 レンゴー株式会社 八潮工場
(埼玉県八潮市)

原 動 機：蒸気タービン 発電出力30,400kW、9,000kW、3,500kW
×各1台
ガスエンジン 発電出力5,750kW×2台
排熱利用：蒸気、2.9ton/h
燃 料：都市ガス

同工場は都市部に隣接することから、早くからCO₂排出量並びにエネルギー使用量削減に取り組んできたが、2号ボイラータービンの効率の低下、電気と蒸気の需要変化による既設のコージェネの効率低下により、これら諸問題の解決策としてESCO事業による発電システムのリニューアルを図り、更にエネルギーの原単位を大きく削減できた。

15:00～16:00 清瀬水再生センター
(東京都清瀬市)

原 動 機：ガスエンジン 発電出力150kW×1台
排熱利用：汚泥乾燥等
燃 料：可燃性ガス

日本初の下水汚泥ガス化炉の完成により、下水汚泥を蒸し焼きにし、生成した可燃性ガスを汚泥の乾燥とガス化に必要な熱源として使用。更に残りの可燃性ガスは発電に利用。これにより温室効果ガス排出量の大幅な削減を可能にした。

17:00 解散：JR新宿駅

見学コース案内図

